ZEPHYROS

ゼフュロス No.73

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

2017年11月20日発行

ISSN1342-8071

国立西洋美術館の 2017年度収蔵作品について

報告

「2017年度収蔵作品」について

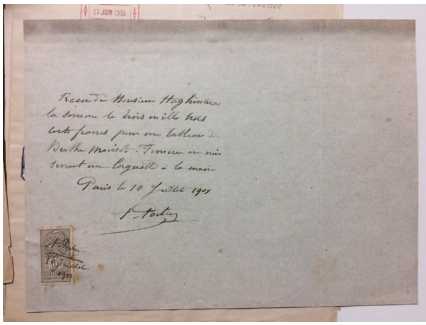
（図1）≪黒いドレスの女性（観劇の前）≫

この≪黒いドレスの女性≫（図1）は、当時のパリの風俗を主題としたもので、オペラ座などの劇場に出かける若い女性の華やかに装った姿を描いています。同様のテーマはマネ、ルノワール、カロリュス=デュラン、ステヴァンス、ティソ、メアリー・カサットなど多くの画家によって描かれました。この絵を描いたフランス印象派の女性画家ベルト・モリゾ（1841−1895）は、高級官僚の娘で裕福な階層に属し、彼女自身もたびたびこうした場所に出向いていました。この作品の女性のドレスが1875年頃に撮影されたモリゾ自身の肖像写真（図2）のドレスと、ほぼ同一であることから、モデルに自分の衣装を着せてポーズさせたものと考えられます。彼女自身は1872年ころから幾度もエドゥアール・マネ（のちにその弟と結婚する）によって肖像画のモデルとして描かれ、そのほとんどが黒いドレス姿でした。

モリゾは父の在任地ブールジュで生まれ、いくつかの地方都市を経て1852年に一家でパリに移りました。パリでは、ジョゼフ・ブノワ・ギシャールに師事し、またルーヴルでの模写による学習を経て、カミーユ・コローに指導を受けたりもしています。そうしたなかで、共に絵画を学ぶ姉エドマとともに1864年、サロンに初入選を果たし、やがて印象派の画家たちと知り合い、1874年の第一回印象派展に周囲の反対を押して参加しました。以降全8回の印象派展のうち、出産の年以外はすべてに出品しています。

この≪黒いドレスの女性≫は、デュラン=リュエル画廊で行われた1876年の第2回印象派展に出品された≪女性像≫であると推定されています。また、モリゾ没後の1896年に同じ画廊で行われた展覧会には≪黒いドレスの婦人≫いう題名で出品されていました。その後の記録は1901年7月10日、パリで日本美術商をしていた林忠正の弟萩原正倫名義でア

（図2）ベルト・モリゾの肖像写真 1875年頃



（図3）ポルティエから萩原正倫（林忠正の弟）
宛ての領収書

ルフォンス・ポルティエという画商から3000フランで購入した領収証（図3、東京文化財研究所蔵、国立西洋美術館寄託）に≪オペラグラスを手に持つ黒いドレスの女性≫として登場するので、この作品が林忠正の所有になっていたことがわかります。彼は1905年に帰国したとき、ポール・ルヌアールの版画200点を含む400点ほどの洋画を持ち帰りましたが、そこにはモリゾ作品は1点も含まれていないので、何らかの理由で帰国前に手放したと考えられます。

この作品が制作されたとされる1875年は、前年の第一回印象派展があまり好評でなかったにも拘らず、新しいグループ展による刺激で、モリゾも制作意欲が高まっていた時期でした。ある展覧会評において、これを「ゴヤのようだ」という記述があるのは、その黒の効果が印象的だったからでしょう。黒のドレスに白いバラが映え、リラックスして、これから見る演劇に思いをはせるやわらかい表情は、モリゾと似ていないのですが、自分のドレスをモデルにまとわせることによって、自らも多く経験したであろう観劇の楽しみを重ね合わせているのではないでしょうか。

（国立西洋美術館長　馬渕 明子）

常設展でご覧いただけます。

表紙、（図1）
ベルト・モリゾ《黒いドレスの女性（観劇の前）》
1875年　油彩／カンヴァス
国立西洋美術館

常設展
一　般　　500円（400円）
大学生　　250円（200円）
＊小・中学生・高校生および18歳未満、65歳以上、心身に障害のある方および付添者1名は無料
（入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください。）
＊（　）内は20名以上の団体料金

報告

平成29年度国立美術館巡回展
「国立西洋美術館所蔵　ミューズ（芸術の女神）：まなざしの先の女性たち」

会場：福島県立美術館　　会期：2017年4月22日（土）～7月2日（日）
会場：秋田県立近代美術館　会期：2017年7月15日（土）～9月18日（月・祝）

マリー＝ガブリエル・カペ《自画像》
1783年頃　国立西洋美術館

カルロ・ドルチ《悲しみの聖母》
1655年頃　国立西洋美術館

国立美術館5館のうち独自のコレクションをもつ4館では、日本全国の人々に広くその鑑賞の機会を提供するいう趣旨に基づき、毎年持ち回りで、それぞれの館の所蔵品を遠隔地の美術館に巡回させ、展覧会を行うという事業を実施しています。今年度は国立西洋美術館が担当となり、福島県立美術館、秋田県立近代美術館を会場に、「ミューズ（芸術の女神）：まなざしの先の女性たち」展を開催しました。展覧会はタイトルが示す通り、女性表現をテーマとした企画で、「女性作家たち」「母と家族」「働く女性たち」「女性の裸体表現」「アルカディアの女性たち」「恋愛・結婚－女と男の物語」「魔性の女」「近代都市生活と女性」という8つの切り口から、西洋美術における女性による表現、ならびに女性の表現の歴史を紹介するものでした。

それぞれ約2か月に及んだ展覧会の期間中、福島会場には、10,571人、秋田会場には12,211人のお客様にご来場いただきました。特にポスターやチラシに画像が使用され、文字通り「展覧会」の顔となったマリー＝ガブリエル・カペの自画像や、カルロ・ドルチの聖母像は、好評を博したようです。私が最終日に訪れた秋田会場では、多くのお客様がこれら2点についてのコメントを（ときにスケッチ入りで）シートに書き込んでくださっていました。

福島、秋田へと旅した作品は、先日、無事上野に戻ってきました。今回の巡回展が、両県にお住いの皆様にとって、西洋美術の魅力を発見する機会になったのであれば、望外の喜びです。末筆となりましたが、展覧会に足を運んでくださった皆様、企画の実現に多大なご助力をいただいた会場館スタッフおよびご後援、ご協力を賜った関係者の皆様に篤くお礼申し上げます。

（国立西洋美術館主任研究員　中田 明日佳）

国立西洋美術館に関わるひとびとをご紹介します。

＊＊＊ 保存修復室の仕事 ＊＊＊

全ての物は作られた瞬間から劣化が始まり、劣化を完全に止めることはできません。美術作品も然りです。作品の劣化を抑えるには環境の整った真っ暗な収蔵庫に「保存」しておけば良いのですが、美術館では作品をより良い状態に保つ「保存」と同時に、調査研究・展示公開する「活用」という相反する役割を担っています。そのため、美術館で働く保存修復専門家は、作品の安全な活用のために、作品をより良い状態に保つ努力をしています。

常設展示作品の埃払い作業の様子

一般的に保存修復専門家というと、常に美術作品の保存修復作業をしているだけと思われがちです。しかしながら、美術館では作品に対する直接的な修復作業は仕事のほんの一部でしかありません。

他にも様々な作業をしており、その殆どは「予防保存」という理念に基づいたものです。事前に劣化要因を出来る限り排除することで、劣化速度を遅らせる予防策をとるのです。例えば、展示室・収蔵庫内の温湿度が極端に高かったり低かったり急激に変化したりすると、劣化が促進され、カビも発生しやすくなります。そのため、建物管理者の協力を得て、適切な温湿度・空気環境を常に一定に保つようにしています。また、光による顔料褪色・変色や材質劣化を防ぐための照明・外光制御、虫菌害の侵入や増加を防ぐ調査・対策なども行っています。

さらに、休館日には定期的に常設展示作品の埃払いを行うと同時に丁寧に状態点検をしています。特別展への出品、常設展示替え、貸出、鑑賞プログラムでの使用、調査研究なども、作品状態点検の好機となります。

美術作品を人に置き換えるとわかりやすいと思いますが、人が老化や病気の発生・悪化を防ぐために、日常的に健康に気を配ったり、定期健診を受けて病気の早期発見・早期治療を行ったりして元気に暮らすことと、美術作品を安全に活用するために保存対策を施す保存修復室の仕事は全く同じ考えなのです。

（国立西洋美術館研究員　邊牟木 尚美）

EVENTイベント

美術館でクリスマス

美術館でクリスマスを楽しみましょう！
様々なプログラムを行いますので、どうぞご参加ください。

期日：2017年12月12日（火）～17日（日）

ギャラリートーク

常設展示室の作品から数点を取り上げ、ボランティア・スタッフが約 30 分間のギャラリートークを行います。日によって開催時間が異なりますので、ご注意ください。

<開催日>**12月12日(火)～17日(日)**

<時　間>**12月12日(火)～15日(金)**
①13：00～13：30
②14：00～14：30

12月16日(土)・17日(日)
①12：00～12：30
②13：00～13：30
③14：00～14：30

<場　所>常設展示室
※予約不要、参加無料。ただし、常設展観覧券が必要です。

※集合場所は当日館内に掲示します。
※トークの内容は毎回異なります。

ボランティアート

ボランティア・スタッフと一緒に、クリスマスカードやリースを作りませんか?
大人から子どもまで、どなたもお気軽にご参加ください!

※ボランティアート…ボランティア・スタッフが企画する立ち寄り式のプログラムです。
大人から子どもまで、どなたでもご参加いただけます。

<開催日>**12月16日(土)・17日(日)**

<時　間>**10：00～16：00**

<場　所> 新館2階ワークショップルーム（常設展内）

※材料がなくなり次第、終了します。
※予約不要、参加無料。ただし、常設展観覧券が必要です。

クリスマスキャロル・コンサート

クリスマスにちなんだ曲を中心に演奏する、アカペラのコンサートです。

<開催日>**12月16日(土)・17日(日)**

<時　間>**①11：00～11：40**
②15：00～15：40
※曲目は２回とも同じです。

<場　所> 本館ラウンジコーナー
※予約不要、参加無料。

※イベントのタイトル・内容等は変更となる場合があります。
最新の情報は国立西洋美術館ホームページまたはハローダイヤル（03-5777-8600）でご確認ください。

Museum shop ミュージアムショップ

新商品

●『巾着入りフルーツキャンディ』

3種類（陽を浴びるポプラ並木・果物籠のある静物・睡蓮）

巾着サイズ 13cm×14cm　780円（税込み）

フルーツキャンディ10粒を、国立西洋美術館の人気作品のオリジナル巾着に詰めました。
国産果汁にこだわったキャンディは、優しい甘さです。

●『ひとくち羊羹（3本入り）』

600円（税込み）

北海道産小豆の風味を生かした羊羹を、手軽にお召し上がり頂けるサイズに仕上げました。
小豆、抹茶、ほうじ茶の3種類の味がセットになっています。

Café カフェすいれん

● Café すいれん ワッフル チョコサンドクッキー

ドリンクをご注文の方に、プラス150円にて提供

薄く焼き上げたワッフルクッキーで、とろけるなめらかなプラリネチョコレートをはさみました。
Café すいれん自慢のコーヒーと共に！

● ティラミス風 ワッフル チョコサンドクッキーセット

ドリンク付き 760円（税込み）

ワッフルクッキーをティラミス仕立てにしました。濃厚なマスカルポーネチーズとコーヒーの香り、さくさくのワッフルクッキーの食感をお楽しみ下さい。

チケット売場、館内施設（常設ミュージアムショップ、カフェすいれん）で Suica、各種クレジットカードがご利用いただけます。（ただし、一部除外品がございます。）詳細については、当館ホームページをご覧ください。

展示カレンダー［企画展示/常設展示］ 2017年11月～2018年4月

休館日　土日・祝日

NOV 11

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木

北斎とジャポニスム―HOKUSAIが西洋に与えた衝撃 10月21日（土）～2018年1月28日（日）（企画展示室）

《地獄の門》への道―ロダン素描集『アルバム・フナイユ』10月21日(土)～2018年1月28日(日)（版画素描展示室）

DEC 12

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日

北斎とジャポニスム―HOKUSAIが西洋に与えた衝撃 10月21日（土）～2018年1月28日（日）（企画展示室）

《地獄の門》への道―ロダン素描集『アルバム・フナイユ』10月21日(土)～2018年1月28日(日)（版画素描展示室）

年末年始休館 12月28日(木)～1月1日(月・祝)

JAN 1

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水

北斎とジャポニスム―HOKUSAIが西洋に与えた衝撃 10月21日（土）～2018年1月28日（日）（企画展示室）

《地獄の門》への道―ロダン素描集『アルバム・フナイユ』10月21日(土)～2018年1月28日(日)（版画素描展示室）

全館休館 1月29日(月)～2月23日(金)

FEB 2

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水

全館休館1月29日(月)～2月23日(金)

プラド美術館展 ベラスケスと絵画の栄光 2月24日(土)～5月27日(日)(企画展示室)

MAR 3

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土

プラド美術館展 ベラスケスと絵画の栄光 2月24日(土)～5月27日(日)(企画展示室)

APR 4

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月

プラド美術館展 ベラスケスと絵画の栄光 2月24日(土)～5月27日(日)(企画展示室)

●年末年始休館・全館休館・臨時開館のお知らせ

＊12月28日(木)～2018年1月1日(月・祝)は年末年始休館となります。
＊2018年1月29日(月)～2月23日(金)は館内整備のため全館休館します。
＊2018年3月26日(月)、4月30日(月)は開館します。

●常設展示

ロダンやブールデルの彫刻と中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画、モネ、ルノワールなどのフランス近代絵画と20世紀初頭までの絵画を展示しています。
（展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。）

※展覧会名、会期、展示内容等は変更されることがあります。作品の保存・貸し出し等の状況により、掲載された作品をご覧いただけない場合がございます。

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007　東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間…午前9時30分～午後5時30分
  金曜・土曜日　午前9時30分～午後9時
  毎月最終金曜日は、午前9時30分～午後10時
  常設展開室時間…午前9時30分～午後5時30分
  金曜・土曜日　午前9時30分～午後8時
  毎月最終金曜日は、午前9時30分～午後9時
  企画展開室時間…午前9時30分～午後5時30分
  金曜・土曜日は、午前9時30分～午後8時
  ＊入室は閉室の30分前まで
- 休館日…月曜日（ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日）
  ＊その他、臨時に休館することがあります。
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日（11月3日）
- お問い合わせ・・・ハローダイヤル：03－5777－8600
  http://www.nmwa.go.jp/

※誌名について…「ZEPHYROS」（ゼフュロス）はギリシャ神話の神々のひとりで、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさと色さまざまの花々を運ぶ春の風をさします。

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第73号
編集・発行　国立西洋美術館/2017年11月20日(年4回発行)
協　　力　公益財団法人　西洋美術振興財団
印　　刷　(株)アイネット

国立西洋美術館
The National Museum of Western Art